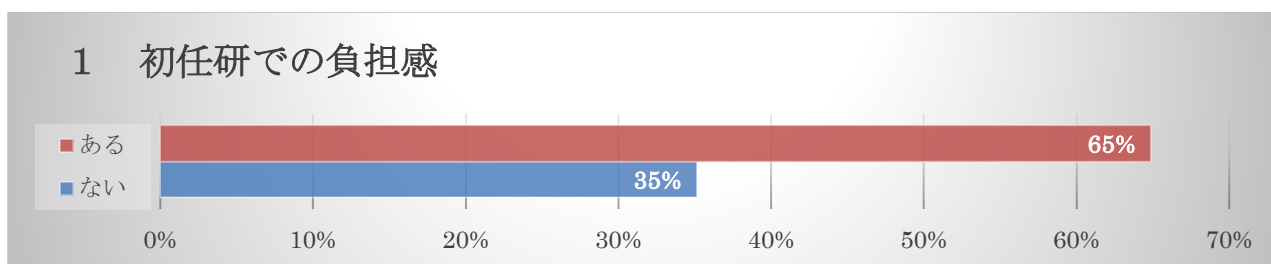


新採アンケート結果 報告

2018年3月1日
熊本県教職員組合

新採アンケート ありがとうございます！

新採の皆さんが、希望と使命感を持って教職に就かれ1年、様々な経験を積み、これからの長い人生を有意義に過ごされるよう願うばかりです。また、これから教職に就かれる後輩の先生方のためにも、変えるところは変えるそういう「働きやすい職場」づくりをしなければと思います。そのためには、組合の存在が必要不可欠です。教職員の、教職員のための、教職員による組合活動をしっかり継続していきたいと思いますので、今後のご協力、ご加入のほどよろしくお願い致します。



<中学校>

- ▲ 多すぎることです。担任させてもらって授業もしているのですが、研修が終わったらレポートを書いて、何のために先生になったのかわからなくなります。何度も出張に行かないといけなくて、学級の子どもが心配です。
- △ 大変とは思ふことばかりだが、自分の実となっているものと感じてる。
- ▲ 論文、研修やレポートが多く授業の準備や学級経営に支障が出てきています。(多数)
- ▲ 研修後の出すレポートが、学校行事や成績処理と重なり苦痛。
- ▲ 特に一学期と夏休み中はセンター研修と管内初任研が多くあるため負担に感じた。

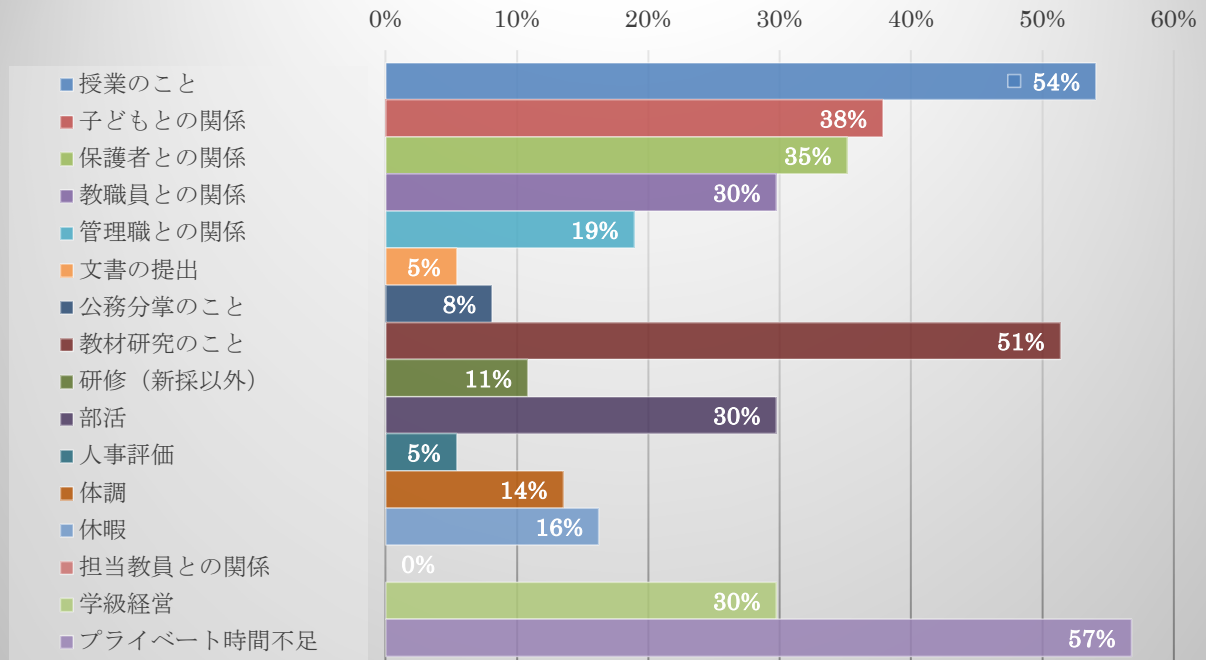
<小学校>

- ▲ 記録簿の入力やレポートの提出(多数)
- 研修自体はとても良かったです。
- △ レポート記入など、考えを整理でき必要だと思いますが、平日は授業の準備などそこまでできず、土日出勤することになりました。
- ▲ 学級を空けるのが不安
- ▲ 分野や内容が似通った研修があり報告書の作成が困難
- ▲ レポートと毎週1本の略案、レポートの処理が多く、休日に記入のため出勤することが多い。
- ▲ 校長
- △ 多少は多いと感じますが、しかたないと思います。

初任研担当がおられるのは、新採にとって心強い面もあるようですが、研修の度に報告書を書く負担が大きいようです。このレポートが何のため？自分のキャリアアップにつながるの？と思うと、よけい負担に感じてしまうとのこと。この時間のために授業の準備や子どもたちとの関わる時間がとれなくなるのが、おかしいと感じている先生が多いようです。だから、毎日遅くまで学校に残ったり、休日出勤が当たり前になっている現場の状況ではないかと思えます。



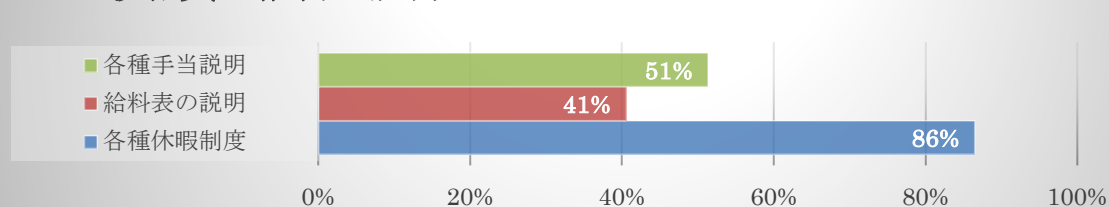
2 学校での悩み



新採として、授業や教材研究の悩みは当然だと言えます。また、それが本来の業務ですからいろんな方法で勉強してってほしいと思います。ただ、学校、教職員みんなが忙しさの中で回りに聞けなかったり相談できない状況はありませんか？先輩の先生が教えるという余裕もないのでは？と思うのです。学級づくりや教材研究など組合はサークルの会（文芸研、作文サークル、生活指導研究会、仮説実験授業、算数教室、水泳教室、音楽サークル、公害サークル、性教育、など）をいくつか持っています。全国の実践家との交流もあります。

際だったのが、プライベート時間不足、他の職種と比べても学校に拘束される時間が多すぎ、デートもままならないという話も聞こえてきました。

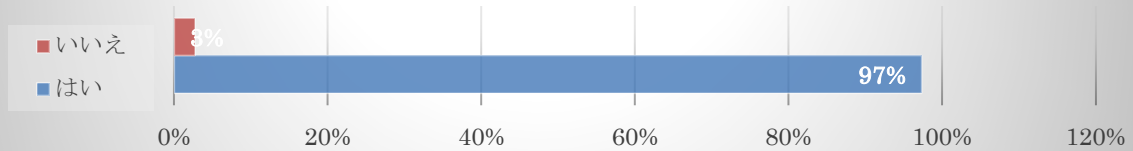
3 教職員の権利の説明はあったか？



教職員の権利の大部分は、組合が県の公務員で構成している組合（県公労）で交渉し獲得してきたものです。今でも、毎年、現場のニーズを元に交渉を重ねています。組合の存在は権利獲得にはなくてはならないものです。ただ、知らないで権利を行使していない教職員も多くいます。管理職も言われなければ何もしません。（災害で出勤できないときは特休扱いになりますが、何も言われなければ年休処理されます。）労働者として自分の権利は知っておく必要があります。



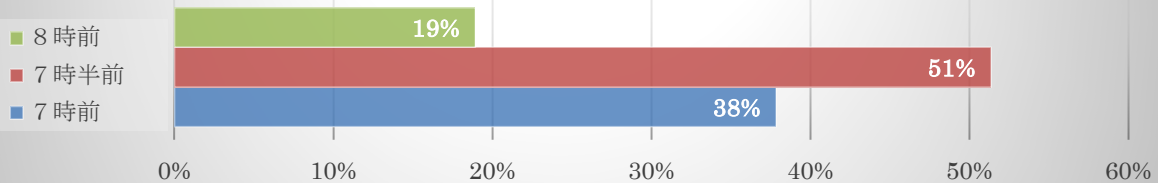
4-① 在校時間把握はされているか？



在校時間把握は、労働安全衛生法に沿って実施されるもので、本来は管理職がするべきものです。教師の負担になっているのならば、本末転倒です。働き方改革で本人の申請でなく、客観的な把握をするよう文科省から通達があったので、各市町村ではパソコンやタイムカードなどによる記録に変わるようです。80時間を超えないように書き直しを言われた新採も多いと聞きます。これは管理職の法令違反になります。長時間労働にならないよう仕事を減らすのが、管理職の仕事です。

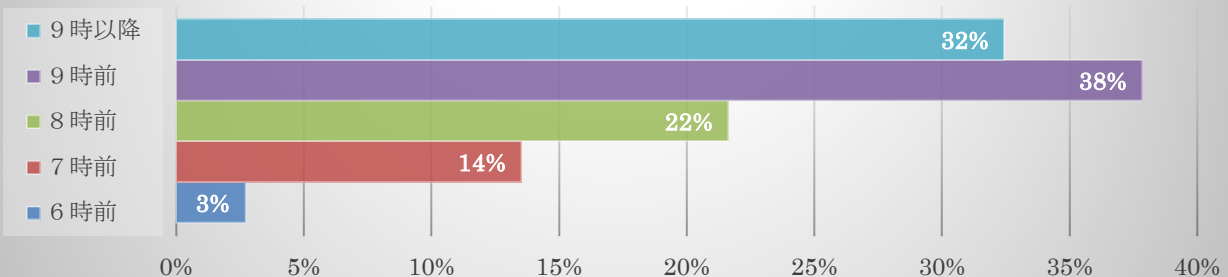


4-② 朝、学校に出勤する時間



朝早く、自分の意志で出勤するのはいいのですが、朝の交通指導や挨拶をするように計画されているのであれば、問題です。こういうところから働き方改革が始まります。お茶入れなど言われている新採はいませんか？ 県教委のパワハラ研修では具体的な例を挙げて指導がされています。

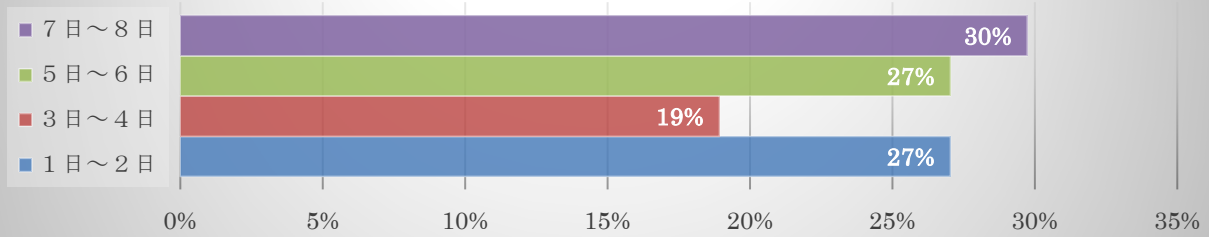
4-③ 夕、学校を退勤する時間



部活を持っているほとんどの先生が、9時前後に帰っているとのこと。家に帰る着くのは10時前後でしょう。こんな状況のなか、先生を続けていけるのか？ 心配になります。教材研究や保護者との関係、報告文書、諸計画と遅くまで残らないと仕事が終わらないことが多すぎます。仕事の効率はメリハリを付けること、休みを適宜に取らなければ、心の病につながりかねません。メンタルヘルスの検査もありますが、自分は大丈夫と思っている先生ほど危ないとの報告があります。

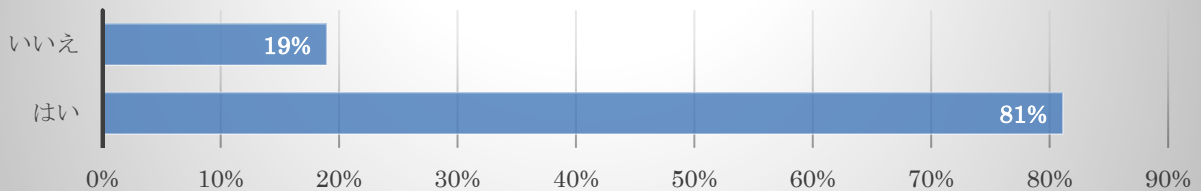


4-④ 1ヶ月に土日、学校で仕事をしている日数



土日の部活と平日に仕事が終わらないので休日に学校に行く、というのが実態です。ほとんど休んでいない新採が、過半数いるというのが驚きです。この実態を県教委は把握しているのでしょうか？
平日の在校時間と休日出勤で考えると、過半数の新採が1ヶ月に100時間は超えているということです。
何とかしないと……

4-⑤ 部活担当をしているか？



4 部活動で課題だと思われることは何ですか？

<中学校>

- ▲ 管理職が経験者のため、技術指導を手伝って下さるが、技術以外のことまで言われるのでとても気を遣う。
- ▲ 外部コーチとの連携
- ▲ 自分の指導力
- ▲ 休日の確保
- ▲ 生徒への指導と保護者との関係
- ▲ 土日が試合になると、次の週の授業の準備をする時間がない
- ▲ 朝練のため朝早く来ないと行けない。朝の時間がない。
- ▲ いきなり合宿があり（年間計画にはなかった）負担に感じた。
- ▲ 部活は大切だけど、負担です。
- ▲ 部活が理由で休みが取りにくい。
- ▲ 土日の時間が自由に使いにくい。
- ▲ 放課後部活が終わった後、家庭訪問をしたりして業務が追いついていないのに、土日試合などがある。
- ▲ 対外試合が毎週あるので休めない。保護者との関係も悩み。



<小学校>

- ▲ 土日を奪われる、ほぼボランティア 放課後の教材研究等の時間がとれず、夜遅くまでの勤務になる。(多数)
- ▲ 部活担当とそうでない人がいる。不公平
- ▲ 手当の制度
- △ 教師の負担
- ▲ 監督として見ておられる先生が異動になったとき、どうなるか不安。
- ▲ 土日も試合で拘束時間があったり、勤務時間終了後に部活があったりしている。持っている先生方にはもっと手当があってもいいと思う。
- ▲ 隣接した市町村の試合のみ旅費が出る。県大会などで遠くに行ったときにはただ働き。
- ▲ 勤務時間外の活動であること
- ▲ 次の日の授業の準備ができない。
- ▲ 土日が試合でつぶれる。
- ▲ 社会体育への移行が行われる予定と言うことだが未だに何も動きがないこと。



部活動の課題は、部活を持っているいないにかかわらず、多くの新採が感じておられます。部活の教育的効果は理解していても、手当の問題もありますが、多くの時間を部活で費やされていることへの不満が多いようです。部活担当を外部委託の話もありますが、なかなか前に進みません。全国的な教職員の働き方改革の大きな課題でもあります。国の動きも見ながら、部活が盛んな熊本県の取り組みもこれからです。

5 学校で働いていて無駄だと思う業務は何ですか？

<中学校>

- ▲ 研究発表のための校内研修
- ▲ 在校時間把握、100時間以上働いているのにその後の面談があるのでちゃんと書かない人が多い。書いても変わらない。
- ▲ 出席簿の手書きと、データー入力としての提出する二重のやり方
- ▲ 文書処理、文書受付
- ▲ 多すぎるアンケート回答

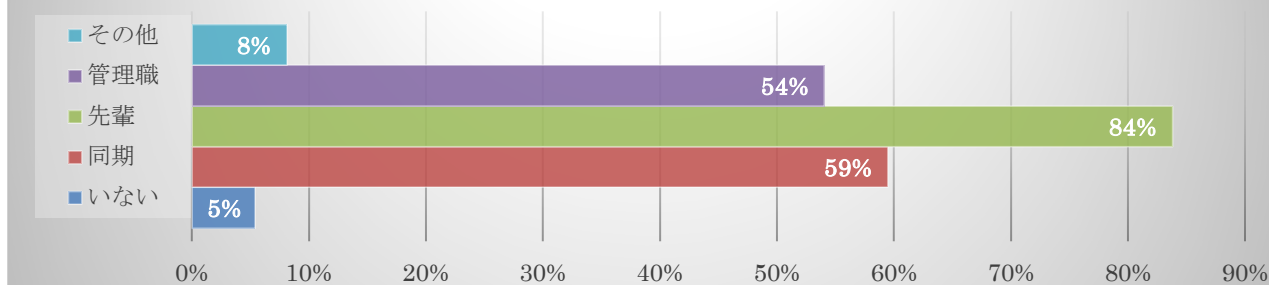
<小学校>

- ▲ 家庭教育が低下しているところを補わなければならない。
- ▲ 子どもと直結しない時間外労働
- ▲ 文書で全部回ってくることで、デジタル化すれば探すのも楽だしセキュリティ上も安全だと思う。
- ▲ 出席簿の〇の記入 在校時間把握表
- ▲ 在校勤務時間把握などしたからと言って何か変わるような気がしない。
- ▲ 学校保健統計調査の事務処理で同じようなデーターを何カ所にも出さなければならないこと。

文書や報告書が毎年毎年増えてきている感覚が現場にはあります。学校受付の文書には右上に受け付け番号があるので、確認してみてください。1年間でトータル5000通以上あったのを覚えています。今はそれ以上かも知れません。パソコンでの入力も増えてきていますが、その基礎データはやはり調べないとならないし、入力そのものも煩わしいという意見もあります。それよりもその調査が本当に必要なのか？何に生かされるのか？子どものためになるのか？働き方改革で変わるといいですね！



6 相談できる人



現場でいろいろ相談できる職場とそうでない職場があります。これだけ忙しいと相談する方もされる方も余裕がなくなるのが心配です。

パワハラやセクハラの相談窓口があるのを知っていますか？「チーム学校」とか「よかボス宣言」「イクボス宣言」とかいろいろ対策や意識改革を行政としては進めていますが、現場でそのような話を聞くことはありますか？

連合や組合には、現場の教職員や新採の親御さんから心配の相談がっており、専門の相談員が対応しています。自分なりのセーフティネットを持つことも大切です。

7 新採として、今感じておられることを教えてください。

<中学校>

▲ 一昨年、新採が5人も辞めていると聞いて驚いた。実際に自分も辞めたいと思ったので、辞めざるを得なかったのだと思います。

△ 経験を積み悩みなどは解決すると思っています。

△ 学びの1年

◎ 子どもたちと関わりは順調で楽しい毎日を過ごしている。業務の精選をして頂きたい。

◎ 良い環境も恵まれ、幸せな1年目です。

△ 先輩の仕事量を見て、さばけていない自分のふがいなさ。

△ 生徒との信頼関係をより築いていきたい。

▲ 仕事が終わらなくていつまでもスッキリしない。

▲ 地域や職種によって形態が異なるので、異動の後が心配

◎ 様々な先生方に支えられながら仕事できています。

▲ 大学を卒業して社会のことも今の実際の子どものことや保護者のことも良くわからないままに、担任をいろいろな葛藤がありました。私と同じような人はたくさんいると思うので、今後教師になる人が、少しずつ「ここでならがんばれるぞ！」と前向きに思いながら成長していける環境を整えてほしいと思います。

<小学校>

○ 充実した一年を過ごせました。

○ 子どもたちの元気な笑顔のおかげでがんばれます。

▲ 日々目の前のことに追われていて先が読めない状況です。来年は変わると思うのですが・・・

▲ 毎日何かに追われている気がします。

▲ 教職員調整額を残業時間で割ると、1時間100円以下になることが不満です。ボランティアが実質的に業務に入っていることが多い（PTA関係、部活関係、始業前、放課後）

- ▲ 初任研が週に4時間入っていたり、時間に余裕がなかったりするため子どもたちと一緒に遊ぶなどの時間がとれません。
- ▲ 忙しい、仕事量が多い、授業が難しい。
- ▲ 定時退勤と言われても、やるが多すぎて時間内に終わらないのはきついナーと思う。
- ▲ 研修、レポートが多すぎる。
- ▲ 臨採の時には気づかなかった大変さがありました。周りに恵まれています、体力的にも精神的にもきついです。こんなにも時間がなく人員不足に気づきました。良い方向に進むことを願っています。
- ▲ 定時に帰れる環境にしてください
- ▲ 自由に休暇がとれる環境にしてください。
- ▲ 提出物や行事などいつも何かに追われるように仕事をしています。働き方改革でどの程度改善されるのか全く見通しがもてません。
- まだまだ勉強中、がんばろうと思います。
- 職場の明るい雰囲気助けられていると思う。
- 大変ですが多くのことを助けていただいています。迷惑をかけながらなので・・・
- △ 「学校で働く」ということに慣れることに精一杯の1年でした。分からないことはばかりで何でもやってみようという気持ちで過ごしてきました。ふと何をしているのか分からなくなったこともあります。バランスをとること、力として身につけたいです。今は「おかげさまで」の気持ちが大きいです。
- △ 来年から研修がなくなるので少しの不安。やっと慣れてきた気がする。
- △ 学校は楽しいが、業務が追いつかない。



「子どもの教育のために先生になったんだ！」という思いが伝わってきました。「新採としてさーがんばろう！」という前向きな意見が多くあり、私たちも初心を忘れないで、教職員としての仕事をもう一度見直そうという気持ちになりました。

ただ、そういう思いの中でやってきたのに、いつの間にか、なぜこんな忙しい学校現場になったのか？ 先日行われた熊日の「教職員の働き方改革シンポジウム」では、熊本市教育長が、「学校の役割と教職員の役割はイコールではない！ 全てを請け負いすぎてきたのではないかと？ 行政は雇っている教職員の生活を守るのが仕事。改革はやれるところから実施していくと、経営者としての管理職の立場を明確にされました。また、PTAからは先生達はできないことはできないと発信し、周りに助けを求めることで地域も協力しやすくなる。など改革に向け建設的な意見がありました。

組合としては、「給特法」で先生たちには残業がないものにとらえられている点を解決する必要があると考えています。4%の手当て全ての時間外労働がカバーされているという錯覚を管理職も教職員もしており、長時間労働の原因になっています。

教職員も労働者です。「働き方改革」で企業の80%はその取り組みを始めているとのこと。公務員全体の働き方も変えていく流れになっていますが、教職員もその流れにのって変えていく必要があると考えます。世論の盛り上がりも今がピークです。今がチャンスです。